

# 最大震度6弱の地震発生

北海道初の震度7を記録（安平町は震度6強）した北海道胆振東部地震から半年が経とうとしていた2月21日21時22分ごろ、再び大きな地震に見舞われました。

胆振地方中東部を震源とする今回の地震は、安平町内では震度5強（マグニチュード5.8）。昨年9月6日に発生した北海道胆振東部地震の震源地と程近い場所での今回の地震に気象庁は、「今回の地震は平成30年北海道胆振東部地震の一連の活動と考えられる」との見解を公表しており、また震源地の周辺地域に石狩低地東縁断層帯があることに留意するよう喚起しています。

9月6日の北海道胆振東部地震が発生した際、「冬じゃなくて良かった」という話が町民同士はもとより、各種メディアでも報じられていた。その最中での地震であったために、寒さがまだまだ残る北海道の冬の長期間にわたる「断水」や「停電」を心配したことでしょう。

幸いにもそのような事態には見舞われなかったが、いつ次が来るのか分からないものだけに、更なる注意や対策をして行くことが大切だと改めて感じさせられました。すでに対策されていたりする方は多いと思いますが、冬季間における主な対策を紹介します。

## 冬の北海道でしておきたい地震対策とは？

### (1) 雪への対策

冬の北海道であると屋根に多くの雪が積もっていることも考えられます。もしそのような状態で大きな揺れが起きると、屋根の雪が一気に滑り落ち避難経路を塞いだり、避難の際の落雪事故を誘発する恐れもあります。

避難を要するほどの地震の発生を想定すると、避難経路となる通路を広く確保すること、軒先を歩かないなどの注意が必要です。



### (2) 寒さへの対策

程度によっては、ライフライン（電気、ガスなど）が寸断されることもあり、暖房器具の使用ができなくなってしまうこともあります。そのため、寒さ対策は体調不良を招かないためにもとても大切です。

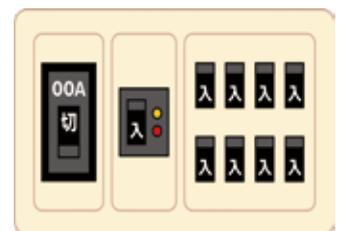
電源等がなくても使用できる「使い捨てカイロ」や手先の冷えを防げるような手袋などを常備しておくことも大切です。



### (3) 火事への対策

大きな地震だと停電が起こることが考えられます。地震発生時に火事にならなくても停電が復旧した際に、暖房器具に燃えやすいものが接触していたり、地震により傷ついた配線がショートし発火する恐れもあります。二次災害を防ぐためにも、避難する際にはブレーカーを落とすなどの対応を心がけることも大切です。

また、万が一発火してしまった場合、被害を最小限に止めるためにも、消火グッズを用意しておくことも対策の一つです。



冬の災害対策は、他の季節よりも備えるものや注意をしなければならないものが多くなります。

身の回りにどういう危険が潜んでいるのかを知っておくだけでも対策に繋がります。